

湊屋だより

ホームページ <http://www.minoji.minatoya>

平成30年12月号

No. 46

故郷の山

北風にゆらぐ すすきを影に陽が沈む頃は、美しいけれど寂しい、そして冷たい。

雪が降る伊吹山が残照の尾を伸ばす。寒さゆえであるう、人の気配がない。一番美しい光景を展開するのは時間帯を私は好む。

ここはまぎれもない一宮の地域エリアになる。平たんて風光明媚な絶景に欠ける我が濃尾平野であるけれど、ここは違う。大河木曾をまたいで冬にそびえる伊吹山は神々しい。木曾川と伊吹、養老山系の織りなす風景は絶景である。この美しい空間で仕事をすることに誇りを持ちたい...。と同時に私は伊吹山を故郷の山と呼ぶことにした。



ご慈悲

台風でいじめられた屋根と蔵の修繕工事に入った。一瞬の強風で受けた150万円の被害を放っておくわけにはいかない。努力すれば、その工事は何とかなる。一途に湊屋を守る私達である。その叫び、訴えを優しく御理解下さいませ皆様にご感謝を申し上げます。おかげ様と明るい目途がつかさうです。温かいご慈悲ありがとうございました。

宮西連区女性の会	6,000-	一宮大学様	10,000-	小川英夫様	5,000-
原田豊子様	10,000-	名和ナオミ様	10,000-	岡本様	5,000-
中島真由美様	10,000-	昔の灯りご飯様	10,900-	他	募金箱に数千円
加藤佐江子様	10,000-	尾頭様	4,500-		

ボニシヨウカンギ
『梵鐘 歓ギ』

足立 句公



名古屋にある寺(久国寺)に
洋画家 岡本太郎デザインの梵鐘がある。

『銘は歓ギ』

太陽の塔に通ずる鐘を思っけれど...

歓は身体の喜び
ギは心の喜び

と、足立句公氏は説明する。

公共性への湊屋

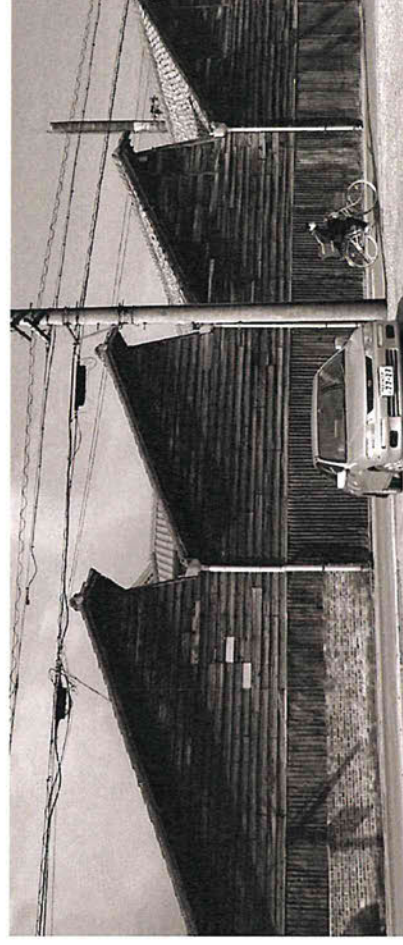
12月2日に、一宮商工会議所主催の婚活パーティーの一端を湊屋にて執り行う事になっている。11月24日は、登文会主催の公開講座に40名の参加者。同日、千葉県から11名の皆様が新幹線で来駕。11月29日に教養講座（百人一首）等々。11月30日に国土省のセミナーに20名が勉強会。12月1日に歴史民俗史料館主催の（みちおこし）行事等々…。文化的な催事が続く。そしてこれらの行事には必ず食事又は茶菓が用意される。

湊屋しか出来ないこれらの事業はどれも公共性に富んでいる。と同時に立派なお役目を果たしていることと自負する私達である。

変わる風景

黒いカワラ屋根の家が少なくなっていく。昔風の連子格子が消えていく。蔵が崩壊する。消えた後には現代風の明るい家が…。時は一瞬にして、積み重ねた歴史を壊して思い出までも消し去る。それだけに終わらず、奥の深い日本的な文化も連れ去る。起の風景は日々変わる。一宮に残る古都。

このままが無理であるなら、せめて趣のある風景に転じてはくれないものか。



湊屋
トピック

湊屋でしか味わえない湊屋らしい催しに是非ご参加ください。

問い合わせ・申込み（水・土・日 10時～17時） 湊屋：080-4224-3733

餅つき大会

花餅作りも楽しめます。

日時：12月23日（日）AM10:00～

場所：茶屋湊屋

会費：1,000円（お持ち帰り含む）

味噌雑炊を食べる会

足立句公氏が岡本太郎あれこれを語ります。

日時：1月9日（水）AM11:00～

場所：茶屋湊屋

会費：1,500円（食事代含む）

節分豆まきと

日時：2月3日（日）AM11:00～

大野栄閨の『江戸小話』

場所：茶屋湊屋

会費：1,500円 五日御飯の用意をします。